

お知らせ

第30回 日本外来小児科学会年次集会

日 時：2021年8月21日（土）・8月22日（日）

会 場：同志社大学 今出川キャンパス 良心館

会 頭：幸道直樹（こうどう小児科/宇治市）

テーマ：「5年後の自分に出会う～新たな飛躍をめざして～」

ホームページ：<http://sagpj30.umin.jp/>

プログラム：ハイブリッド形式（現地開催および Web 開催の併用）

特別講演Ⅰ：京都のイケズについて（国際日本文化研究センター所長 井上章一）

特別講演Ⅱ：子どもの未来，教育の未来（京都芸術大学客員教授 寺脇 研）

特別企画：日常診療に係る臨床研究のすすめ

教育講演Ⅰ：新型コロナウイルスはいつ「新型」でなくなるか（長崎大学小児科 森内浩幸）

教育講演Ⅱ：わが国の予防接種制度の問題点と解決に向けた提言（ふじおか小児科 藤岡雅司）

教育講演Ⅲ：Infodemic（仮） 奈良先端科学技術大学院大学（荒牧英治）

教育講演Ⅳ：微生物とヒトの共進化～ヒトの感染症の歴史～ 鹿児島大学微生物学（西順一郎）

教育講演Ⅴ：小児科医に求められる性的指向と性自認の多様性への理解～LGBTsの子どもの配慮して～（宝塚大学看護学部 日高庸晴）

教育講演Ⅵ：科学と疑似科学 信州大学人文学部（菊池 聡）

教育講演Ⅶ：子どものための幼児教育（同志社大学スポーツ健康科学部 田附俊一，西宮市立子育て総合センター附属おおぞら幼稚園 河崎祥子）

教育講演Ⅷ：在宅児に対する医療的ケアの実践（仮）（大阪発達総合療育センター 竹本 潔）

シンポジウムⅠ：『離乳食』から『補完食』へ

シンポジウムⅡ：スマホ・デジタルメディアとの付き合い方

シンポジウムⅢ：これからの食物アレルギー診療の話をしよう

シンポジウムⅣ：小児科外来の未来を語ろう

シンポジウムⅤ：病児保育の新たな展開

セミナー：小児在宅医療セミナー

抗菌薬適正使用スキルアップセミナー

こどもどこセミナー：みんなで支える子どもの暮らし～小児在宅医療の在り方と未来を考える～

ワークショップ：外来小児科学会といえばワークショップ。討論を通じてオリジナルのプロダクトを目指します。

一般演題：日常診療中で行った研究，実践報告，診療上の工夫などを募集します。メディカルスタッフの発表も大歓迎。もっと質問したい方，質問できなかった方へのプロミスタタイムも設定。

熱血リレー発表会：クリニックや外来場面での実践的取り組みを気軽に発表してみてください。メディカルスタッフや患者・支援者の会の方々も含め職種を問いません。「子どもたちのための活動報告」を待っています。

患者会企画：生命との出会いを紡ぐ出生前診断

（COVID-19の感染状況によりプログラム等が変更になる事があります）

問い合わせ：第30回日本外来小児科学会年次集会事務局（株）コンベンションリンケージ

E-mail：30th_sagpj@c-linkage.co.jp